

広報

みしま

2020

7

July
No. 329



特産の会津桐で木工体験
三島小総合学習



ドラマ出演者の等身大パネルなどが展示された

古関裕而さんの生涯を描いた物語 NHK 連続テレビ小説「エール」移動展開催

福島市出身の作曲家、古関裕而さんをモデルにしたNHK 連続テレビ小説「エール」の移動展は、6月12日から18日まで交流センター山びこで開催されました。ドラマ出演者の等身大パネルやサイン、ドラマで実際に使用された小道具などが展示されました。期間中は町内外から約200人が来場し、来場された方々はドラマの雰囲気を味わいながら、熱心に見入っていました。

花言葉は「清らかな心」 町産かすみ草の初出荷

町産かすみ草の出荷が6月13日から始まりました。川井地区の集荷場には、真っ白なかすみ草と色とりどりの染めかすみ草が並んでいます。生産者の角田亀好さん（川井）と五十嵐陽二さん（名入）のもとでは、今年から角田信三さん（川井）と安藤香奈子さん（滝谷）が新規就農研修生として、かすみ草の生産を熱心に学んでいます。新型コロナウイルスで不安な日々が続いていますが「清らかな心」を花言葉とするかすみ草は人々の心を癒してくれます。



かすみ草生産者の皆さん：（左から）五十嵐 陽二さん、角田 信三さん、角田 亀好さん、安藤 香奈子さん、五十嵐 健二さん（名入）、秦京子さん（大石田）

健康な毎日を支援します 令和2年度三島町保健推進委員会を開催

令和2年度三島町保健推進委員会は6月12日、町民センターで開催されました。今年度の活動目標や事業計画について話し合いが行われた後、新型コロナウイルス感染症の研修会も行われ見識を深めました。町では現在28人の保健推進員が活動し、町民の皆さんが健康で豊かな生活を送れるよう支援することを目的に、町が実施する保健事業等にご協力をいただいています。



保健推進委員会の様子

伝統工芸の技術を学ぶ 三島小学校 会津桐の木工と編み組細工体験

三島小5・6年生は6月18日、生活工芸館で会津桐の木工と編み組細工を体験しました。福島県の森林環境交付金を活用した総合学習の一環で、桐の木工を町木工指導員の道田昌吾さん、編み組細工を生活工芸伝承生の小林由佳さんと崎山志帆さんの指導を受けながら、児童たちは、電動のこぎりやヤスリを使って丁寧に作業を行っていました。慣れない作業に苦労しながらも、5年生が桐のレターケース、6年生はヒロロのコースターを上手に仕上げました。

（上段写真）ヒロロのコースターを手にする6年生

（下段写真）レターケースを手にする5年生



ご寄付ありがとうございました 会津地鶏みしまやが会津地鶏 700kgを町に寄贈

（尙）会津地鶏みしまやは、町に会津地鶏約700kgを寄贈しました。6月3日、小平和広代表取締役と齋藤行紀取締役が役場を訪れ、矢澤町長に目録を手渡ししました。同社は、新型コロナウイルス感染症の影響により、出店予定のイベントの中止や取引先の店舗が営業を自粛したことなどで多くの在庫を抱えましたが、「お世話になっている町民の皆さんに、自慢の会津地鶏を食べていただきたい」との小平社長の想いから、今回の寄



①矢澤町長に目録を手渡す小平和広代表取締役社長（写真中央）②給食の様子（6月3日）③給食では初めて会津地鶏が提供されました

贈となりました。寄贈された会津地鶏は、町内の全世帯に冷凍のむね肉とも肉が配布された他、三島小・中学校の給食でも「から揚げ」として提供されました。子供たちは、町特産の会津地鶏を美味しく食べていました。

役場 特命担当課 ☎ (48) 5232 ま ち の 話 題

みんなで一致団結火の用心 三島保育所幼年消防クラブ結団式

三島保育所幼年消防クラブ結団式は6月3日、三島保育所で行われました。同クラブは三島保育所児童で構成され、消防署見学や避難訓練を通して防火、防災について学ぶことを目的としています。児童たちはハッピーを着用して式に臨み「私たち三島保育所幼年消防クラブは、おうちの人と協力しながら火事を起こさないように気をつけます」と誓いの言葉を述べました。



火災予防を呼びかけた幼年消防クラブの児童たち



ざる菊とコキア約700本が植栽されました

秋には満開の花が見られます ざる菊コキア会の植栽作業

松原地区のざる菊コキア会（代表：佐々木邦雄さん）による植栽作業は5月24日、地区を通る国道252号沿いの畑で行われました。美しい地区づくり町民運動の一環で、この日はざる菊とコキアを植栽しました。どちらも丸く育つことが特徴で、コキアはハウキギとも呼ばれるとおり草ハウキとしても利用されます。10月～11月には満開の花が、国道を歩き交う皆さんの目を楽しませてくれます。

地域おこし協力隊コーナー

Vol.3

うえむらあきえ
植村明恵さん

会津桐タンス(株) 配属
桐製品づくり技術習得

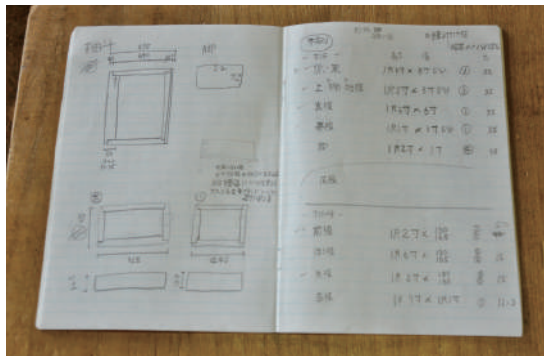


用途に合わせて使い分ける様々な鉋

～現在取り組んでいること～
引き出し式の薬箱（植村さん考案）の制作に取り組んでいるそうです。少しずつ鉋を使う練習も取り入れていて、片方を閉めるともう片方が出てくるような緻密な計算で作られている桐

～はじめに～
今回皆さんにご紹介するのは、地域おこし協力隊として2年目を迎え、会津桐タンス株式会社に勤務する植村明恵さんです。

桐タンスの魅力に惹かれ、東京の高校を卒業後すぐに、三島町に移住しました。日々、桐製品づくりの技術向上に励む、植村さんの活動をご紹介します。（写真）



細かくメモが書かれた植村さんのノート

そこには、これまで先輩方に教えていただいたことや、自分で製作をしていて感じたことなどが書いてあり、仕事に対する責任と情熱が伝わってきました。



木目がきれいに揃った植村さん制作の茶筒

～これからの目標～
先月までは茶筒の製作を行っていた植村さんですが、異なる製品作りになると工程も作り方も違い毎回難儀してしまうそうです。そんな植村さんに、これからの目標を尋ねると、「鉋の扱い方や、作る上でも早く丁寧にできるようなりたい」と話していました。写真の茶筒は、完成した後には焼きを入れたもので、どの向きでも蓋が閉まるようにできていますが、木目を合わせるのと継ぎ目がわからなくなるくらい丁寧な作り込まれた一品でした。鉋の刃を自分で研ぐという植村さんですが、鉋以外にも仕事で使う道具は自分で作



真剣な眼差しで鉋の調整をする植村さん

現在製作中である薬箱にも植村さんのこれまでの経験と技術が込められていることを知っています。今から完成が楽しみになりました。次回の植村さんの記事を作成する頃には、また違った製品のご紹介もできると思っていますので、みなさんもお楽しみに。



町民記者通信



志津倉山登山道の整備行われる

文・写真 菅家壽一さん（間方）



5月29日、志津倉山登山道の整備が行われました。今年は、新型コロナウイルスの影響で山開きは開催されませんでしたが、シーズン中に登山者が安全に気持ちよく登って頂こうと行ったものです。観光協会から委託を受けた佐久間建設から5名、志津倉山の会から2名が参加しました。今冬は雪が少なかったのですが、倒木が多くチェーンソーが大活躍でした。1,234mと低い山ですが、鎖場やブナ等の巨木林があり、人気の山です。皆さんぜひ、おいでください。



アメシロの駆除作業

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

6月21日、地区役員と組長の7名によるアメシロ駆除作業を実施しました。今年も町より散布機の貸与と薬剤の提供をいただき実施しました。アメシロは梅・柿・桜などの樹木に発生し、葉を食べ荒らすため早めの駆除を行います。毎年アメシロが発生しやすい本格的な梅雨前に実施しており、作業は地区内の町道沿いを中心に、およそ2時間程で終了しました。作業にあたった皆さんは地区の美しい緑を守り、快い気持ちで解散となりました。



地区委員による今後の西方を見据えた話し合い

文・写真 本名与四郎さん（西方）



6月17日、今年度第3回目の「地区委員会」が行われました。小松豊区長より、1ヶ月の間に行われた地区に関わる主な行事についての報告がありました。その後、土木部から大林ふるさとの山の刈払い作業や国道400号の刈払い作業の日程について説明がありました。最後に、町振興計画の地区目標である「宿場町の面影が残る、楽しく安心して長く暮らせる地区づくり」の実現に向けたさまざまな取り組みが提示され、実践可能な取り組みかどうかを、各団体の意見を取り入れながら検討していくことで地区委員会が終了しました。

広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

☎特命担当課 ☎(48) 5232

健康で元気な毎日に vol.44 子宮頸がん検診について

町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

○子宮頸がんは、検診すれば予防できるがんです！

初期症状がなく何度でも感染するため、予防には検診が必須です！

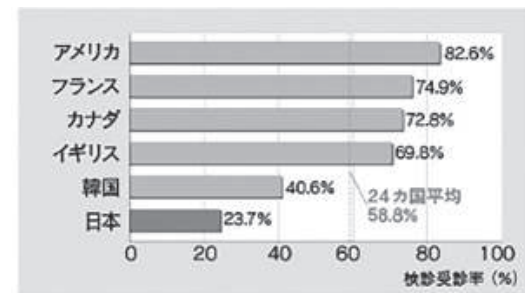
女性の誰もがかかる可能性のある「子宮頸がん」、初期症状がない「子宮頸がん」は、検診で予防できます。また、がんになる前の段階で発見すれば、簡単な治療で済み、その後の妊娠、出産も通常通り行

うことができます。町でも **7月10日(金)**に集団検診が行われます。また、病院で実施する施設検診もあるのでぜひご利用下さい。 ※病院で8,500円の検診を500円で受けることができます。

子宮頸がんの原因は、性行為によるヒトパピロマーウイルス（HPV）というウイルスの感染です。しかし、HPVはごくありふれていて、大多数の人が何度でも感染するウイルスで、予防法は子宮頸がん検診を受けることです。

HPV感染からがん発症までは平均10年です。その間に検診すれば発病リスクの有無（細胞が変化した異形成の状態）がわかるからです。異形成はがんではありませんが、放置しているとまれにがんになる可能性があります。検診の目的はこの異形成を見つけること。

普通、がん検診というとがんの早期発見を意図しますが、子宮頸がん検診だけはがんの予防を意味します。



OECD加盟 24 カ国の子宮頸がん検診受診率
(2007 年 10 月発表より抜粋)

パートナーができれば、それを機に検診を受けましょう。最近では20代の人のがんが増えているので若くても検診を受け、特に頸がんのピークである30～40代は必ず受けてください。アメリカの検診受診率は82.6%と高く、検診すればほぼ100%予防できるにも関わらず、日本は先進国最低の23.7%です。子宮頸がん検診においては、後進国といわざるを得ない状況です。

町民センター図書コーナー

「ゆめぽけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぽけっと』利用時間

月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。 ☎ 公民館 ☎ (48) 5599

ツナグ～想い人の心得～

辻村深月：著

「ツナグ」は一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれる「使者」である。主人公の歩美は最愛の祖母からその役目を受け継いだ。時は過ぎ、会社員として働く彼のもとには、様々な想いを抱いて使者との面会を待ちわびる人々が訪れる・・・

夏物語

川上未映子：著

小説家を目指して上京し、38歳になる夏子には密かな願いがあった。それは、パートナーなしの状況のまま、自分の子供を出産すること。やがて、夏子は本当の父親が分からず、探し続けている逢沢と出会い、惹かれていく。主人公と周囲の人々の悩み、葛藤、希望の物語。



町史編さん室だより

第54回

明治期の只見川における築漁

只見川（阿賀川・阿賀野川）の水力を利用した発電所建設が盛んになり、遡上してくる鱒が少なくなるまで、各村では築場を設置して鱒や鮎を獲る漁が行われていました。桑原・河越卿家や福島県庁に遺された文書には漁業関係のものもあり、明治期における只見川の水利状況や築漁について、うかがい知ることができます。

明治二十年（一八八八）五月、大沼郡長から福島県知事宛に上申した郡内の「水産事項調査」によると、会津藩時代には只見川の各漁場において築をかける（設置する）のは自然の慣行であり、命令や許可などの必要はなかったとしています。また明治の初年代、只見川が「水利不便」になって漁業ができなくなったが、明治の十年代に回復、その頃から出願許可の上漁場を構えるようになったとも書かれています。

名入村小山の坂内房吉氏が明治十八年七月に大沼郡長宛に提出した「区画漁業願」には小山における築場漁業の成り立ちが書かれており、天保五年（一八三四）、名入村の坂内民之助が築場を発見、無税にて三十二年間漁業をしてきたが、明治二年（一八七二）に「水利不便」となり休業、明治十年代に水利が回復し、十七年から許可を得て漁場としてあらためて利用をはじめたとしています。この再開後から漁業に対し、許可願だけでなく納税の義務が生じたことが、坂内氏が同年に郡長に提出した築漁願に「七月ヨリ十二月迄一季税納入札差出候」として一円

を納めていることからわかります。なお、明治初年代の「水利不便」による漁の休業については既に紹介した「水産事項調査」の記述と共通しており、この「水利不便」という言葉が何を意味しているかは不明ですが、明治初年代に何かしらの理由で只見川における漁業が難しくなったことがうかがえます。

明治期において現三島町内で漁業を行なっているという記録が遺された最も古いものは十四年（一八八一）の「築場取調上申」という松原村戸長から大沼郡長に宛てた文書で、戸長が松原村には一ヶ所築場があり、七月から十二月にかけて鮎を一万匹、鱒を七貫目ほど獲っていると調査し、郡長に報告しています。

県庁に遺されていた明治三十六年（一九〇三）『定置漁業免許願』の綴には、既に紹介した小山の坂内房吉氏の他に松原在住の二名が提出した漁業免許出願に関する一式が綴られています。いずれも築漁の許可を求めたものです。その一つは明治二十一年（一八八九）から阿部市吉なる人物が松原において築漁を既に行っているとして不許可となっています。もう一つはその阿部氏からの許可願で、これまでも大沼郡長の許可で漁業を営んできたことに言及、繁殖上の支障がないことや魚道の開通についても適当であるとしており、申請は許可され、免許状が発行されています。免許状によれば小和瀬において明治三十六年十月七日～四十六年十月六

☆新着本

カ エ ル の 小 指
道尾秀介：著

熱 源
川越宗一：著

秘 め る 恋 、 守 る 愛
高見澤俊彦：著

ク ス ノ キ の 番 人
東野圭吾：著



会津坂下警察署からのお知らせ

新型コロナウイルスに 便乗した詐欺に注意！

給付金や助成金名目の詐欺が予想されます。
自治体職員などを名乗り

- ・手続きのため、ＡＴＭに行ってください。
- ・手数料を振り込んでください。
- ・通帳やキャッシュカードを郵送してください。

などの言葉があったら詐欺です。

また、マスクや消毒液などの送りつけ料金を請求する悪質商法にも気をつけてください。

STOP！なりすまし詐欺！！

公的機関や債権回収業者とよく似た名前をかたり、はがき・メール・電話でアダルトサイト等の未納利用料金を請求されお金をだまし取られる被害が発生しています。**相手に連絡する前に、家族や警察に相談してください。**

☎会津坂下警察署 生活安全係 ☎ 0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数（5月31日現在）

区 分	管 内	三島町
空 き 巣		
忍 込 み		
事 務 所 荒 し		
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	1	0
そ の 他 等 刑 法 犯	20	1
全 刑 法 犯	21	1

○管内では、5月中に倉庫荒らしや器物損壊事件が発生しています。倉庫や車庫は必ず施錠を！施錠できない場所にはセンサーライトを設置しましょう。その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、令和2年1月1日からの累計数となっています。



消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器の設置状況調査を実施

三島町では、全戸配布された住宅用火災警報器が設置から約10年が経過し、電池切れや交換の時期を迎えることから役場、消防団及び会津坂下消防署三島出張所が共同で一般住宅の住警器設置状況調査を実施しました！



火災警報器設置状況調査の様子

住宅用火災警報器は 維持・管理が大切です！



三島 守

新しい住宅用火災警報器に取り換えたいけど・・・**設置場所がわからない！**又は**自分で設置することが難しい！**とお困りのあなたの代わりに私たちが住宅用火災警報器の設置を行います。

※詳しくは 役場 総務課 ☎ (48) 5511 へお問い合わせください。

☎会津坂下消防署 三島出張所
ー火事・救急・救助ー 電話 (52) 3032
119 番まで FAX (52) 3033

環境研だより

第24回 浅岐地区の森林調査



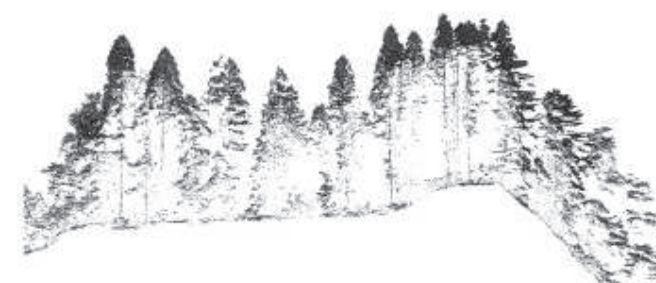
しぶしぶくん

三島町のみなさん、こんにちは。今回は浅岐地区で実施している森林調査についてご紹介します。

国立環境研究所福島支部では実際に山に入らずに、ドローンを利用して上空から撮影した画像によって樹木の状況を推定する技術開発を行っています。その一環として浅岐地区の皆さまにご協力いただきまして、データを収集させていただいています。ドローンによる撮影等のデータ収集には富岡町にある株式会社ふたばさんをお願いし、またデータの解析は大阪大学工学研究科町村研究室との共同研究となっています。

収集したデータはドローンで上空から撮影した画像から、木々が生えている正確な場所や樹種、大きさなどのデータを、機械学習という技術を使ってコンピュータで推定し、将来的な森林の成長量などを予測するしくみの開発に活用されます。

このようなしくみを開発することで、実際に山に入らずともドローンを飛ばすことで広い範囲の詳しい森林データを得ることができ、林道を整備する際や、より価値の高い樹木を見分ける場合など、地域の森林の活用が大きく貢献することが期待されます。森林の活用が進むことで、林業だけではなく、災害防止や景観形成などさまざまな地域の活性化に繋がっていくと考えられます。



横からの森林の画像

浅岐地区での森林調査は現在までに3回行っており、1回目は2019年の8月にドローンによるレーザー計測を行いました。レーザー計測を使うと、上からだけではなく（上の画像）のような断面図も見るができます。2回目は今年の3月に行い、1回目に撮影した画像から推定した樹木の位置が実際の位置とどの程度合っているのかを確認するため、

120本程度の木の正確な場所を、GPS（位置情報システム）を使って現地で計測しました。その結果、推定した位置と実際の場所にかんがりのズレがあることが分かり、その原因として木が生えている場所（今回は傾斜が大きい場所でした）が影響している可能性が考えられたため、傾斜の小さい場所でもう一度確認することにしました。

そして2020年6月に、3回目となる現地調査が行われました。今回は山の中の方に入り、傾斜が小さい場所で2回目と同じように木の位置を140本程度計測しました。この2回目のデータと1回目にドローンで撮影した画像を比べて、どれくらいズレがあるのかをこれから確認することで、より精度の高いしくみになるよう改善していきます。これらの結果はまた町の皆さまにも改めて報告する予定です。



計測に使用したドローン

現在は浅岐地区だけでのみデータ収集を行っていますが、大石田地区でも同様の調査を年内に実施する予定となっています。

また、今後は三島町で得られた結果も使いながら、県内の富岡町、田村市、郡山市といった自治体での調査も予定しています。

< 筆者紹介 >

常盤 達彦（ときわ たつひこ）

今回の森林調査にて浅岐の山に登って調査する際、体力がない自分は途中でダウンしました…。鬼子母神でもダウンした自分。まるで成長していない(泣)



☎国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

令和 2 年度 自衛官採用試験のお知らせ

募集種目	航空学生	一般曹候補生	自衛官候補生	自衛官候補生
			男 子	女 子
資 格	海:18 歳以上 23 歳未満者高卒（見込含） 空: 18 歳以上 21 歳未満者高卒（見込含）	18 歳以上 33 歳未満の者	18 歳以上 33 歳未満の者	
受付期間	令和 2 年 7 月 1 日～ 9 月 10 日（予定）		年間を通じて行っています	
試験期日	※自衛官等採用試験日程については、選考解禁日が 10 月 16 日以降になったことを受け変更となりました。試験日程が決定次第「福島地方協力本部 HP」にてお知らせいたします。			

○応募先 / 問い合わせ 自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部
消防職員募集

来年採用予定の消防職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

試験職種	職務内容
消防職員 (3 名程度)	消防署等において、警防、予防、 救急等の業務に従事します。男女と も原則として深夜業を含む交替制勤 務です。(6 ヶ月間の消防学校研修 後、各所属に配属されます。)

2. 受検資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成 5 年 4 月
2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた者
身体の基準は、身体強健な者とする。

3. 試験申込書の請求

消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で
交付します。なお、消防本部のホームページ（ア
ドレス <http://www.119-aizu.jp>）から受験案内およ
び試験申込書をダウンロードすることができます。

4. 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120
円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒（A4 半
大）を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏
整備組合消防本部総務課（〒965-0131 会津若松市
北会津町中荒井字諏訪前 11）へ郵送してください。

5. 受付期間

令和 2 年 7 月 15 日④～令和 2 年 8 月 14 日⑤
（勤務時間中【午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分】
に限りです）

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。
郵便による申込書提出の場合は、8 月 12 日⑥の消
印があるものまで受け付けます。

6. 第 1 次試験

日 程 **令和 2 年 10 月 18 日⑧**
会 場 教養試験 会津大学
体力試験 会津大学体育館

※新型コロナウイルス感染症の影響により、採用試験の日程、会場等が変更される場合があります。その場合は、消防本部ホームページで周知するとともに、申込者のメールアドレスにメールにて通知いたしますので定期的にご確認ください。

☎会津若松地方広域市町村圏整備組合 総務課 ☎ 0242 (59) 1400

ポリテクセンター会津 訓練生募集

・CAD・NCコース【ビジネススキル講習付】
・電気設備技術コース【ビジネススキル講習付】

①募集期限 7 月 17 日④まで

②募集定員 6 名

③訓練期間 8 月 4 日から令和 3 年 2 月 26 日まで（7 ヶ月）

④対 象 者 公共職業安定所に求職登録されている方で、
職業訓練の受講が望ましいと判断された方

⑤受講料 無 料

⑥選考日 7 月 21 日④午前 9 時から

◆施設見学会（職業訓練つてなに：？）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合形
式を避け、個別に応じさせていただきますので、ポリテ
クセンター会津訓練課まで、お気軽にお問い合わせください。
また、施設見学会当日は訓練体験も受けられます。

☎ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0 2 4 （26） 0 5 2 0

大切な遺言書を法務局がお預かりします

自筆証書遺言書は、ご自身で作成できますが、ご自宅な
どに保管されていることで、遺言書が発見されなかったり、
紛争が生じたりする恐れがありました。その不安を解消し
ていただくために、法務局が遺言書をお預かりする制度を
7 月 10 日から開始します。

詳しい内容や手続きについては、福島地方法務局若松支
局へお問い合わせください。

☎福島地方法務局 若松支局 ☎ 0 2 4 2 （27） 1 4 9 8

社会福祉協議会より サロンのご案内

▼大石田友遊サロン

7 月 6 日④10 時～ 大石田集会所

▼高清水・小山いきいきサロン

7 月 10 日④10 時～ 高清水集会所

▼大登サロン

7 月 14 日④13 時 30 分～ 大登生活改善センター

▼滝谷和楽塾

7 月 15 日④10 時～ 滝谷集会所

▼浅岐あつたかサロン

7 月 17 日④10 時～ 浅岐集会所

▼川井友愛サロン

7 月 20 日④10 時～ 川井集会所

▼ひまわりサロン

7 月 21 日④10 時～ 町民センター

▼サロンないり

7 月 27 日④10 時～ 名入集会所

▼間方いきいきクラブ

7 月 31 日④10 時～ 間方集会所

▼大石田友遊サロン

8 月 3 日④10 時～ 大石田集会所

▼大登サロン

8 月 4 日④13 時 30 分～ 大登生活改善センター

▼松原はつらつサロン

8 月 7 日④10 時～ 松原集会所

▼高清水・小山いきいきサロン

8 月 7 日④10 時～ 高清水集会所

☎社会福祉協議会 ☎ (52) 3 3 4 4

7 月の納税【納期限 7 月 31 日】

▼固定資産税（第 2 期）

▼国民健康保険税（第 2 期）

▼介護保険料【普通徴収】（第 2 期）

☎町民課町民係 ☎ (48) 5 5 5 5

忘れずにお納めください

町の人口と世帯
6 月 1 日現在

人口	1,563	-8	出生	0
男	773	-5	死亡	4
女	790	-3	転入	6
世帯	750	+2	転出	10

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

お悔み申し上げます

佐久間 悦雄（87 才・滝原）
佐々木 マキ（100 才・松原）

※『広報みしま掲載同意書』を提出いただいた方のみ掲載しています。
（6 月届出：敬称略）
☎特命担当課 ☎ (48) 5 2 3 2

ご寄附ありがとうございました

町へのご寄附（ふるさと納税）

秋 山 弘 美 様（埼玉県）
前 中 様（東京都）
樋 口 達 郎 様（郡山市）
町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

山 内 市 政 様（大石田）
佐久間 征 悦 様（滝原）
二 瓶 ヒデ子 様（大谷）
佐々木 邦 雄 様（松原）

待ちにまった楽しい野外保育 ～田んぼの生き物と遊んだよ～



最近あまり見かけなくなったイモリを発見

6月17日、三島保育所の3歳児から5歳児の野外保育が西方地区の西隆寺周辺の田んぼで行われました。野外保育を楽しみにしていた子供たちは、田んぼに到着すると網やバケツを使って、おたまじゃくしやカエルを捕まえるのに夢中になっていました。

お昼は、西隆寺境内で持参したお弁当を食べ、普段と違った屋外で食べるお弁当を、子供たちは美味しそうに頬張っていました。

町長日記

～集落・地域からみる世界は～

No. 58

昭和60年10月22日に三島町合併30周年記念誌「明日の足音が聞こえる」を発行しました。昭和30年（1955年）7月20日宮下村と西方村が合併し三島村となった記念事業とし、合併後の30年を振り返り、歴史の蓄積を検証し、今後の町づくりを考える主旨で発行したものでした。この記念誌は全世帯に配布されたと記憶しています。

記念誌発行事業は、当時の社会教育課長をリーダーとし、職員5名ほどで通常業務が終了した後、職場や自宅に持ち帰り、各個人の時間の中で書いた記憶があります。記念誌を発行し35年が経過しましたが、今思うと非常に充実した「時」を過ごした思い出が蘇ってきます。

東京に住んでいる頃、青森県出身の詩人で演劇実験室「天井桟敷」主宰の寺山修司の講演で「好きなことで生活できる、お金を頂ける事が一番です。趣味か仕事か区分できなく融合した時を過ごすのが人間にとって一番の幸福です」というフレーズを思い出しながら書いた記憶があります。

当時の町長は、この記念誌の挨拶文中で、ふるさと運動・生活工芸運動・有機農業運動・健康づくり運動・地区プライド運動の関連を記述し、特に地区プライド運動については以下のように記述しています「町の内部の運動です。最小の

行政単位は地区（ムラ＝集落）にあります。地域に誇りを持ち、住民として責任を持ち、共同生活を営むことは民主主義の原理であり、その醸成が町づくりには欠かせません。その方策として地区にあつたプライドを指定し、ムラの人が心をあわせ実行する事で、心の絆を強くすることに目的があります。

～目指している町づくりの基本概念は、文化にある～文明中心の都市には大きな財産として持っている生活の知恵、ものづくりの技術、思いやりの心など、今あるもの、もつているものを、広い大地の上に生かす、ここに未来を拓く私たちの町づくりの大道があると信じます」

約50年前にこれらの運動の町づくり理念を構築した先見性は、今読んでも感動が、国や県そして市町村の過疎対策や地方創生の方向を決めたといっても過言ではありません。簡単に言うところ「自分の足下の井戸を掘る、そこに泉がある」その理念を深化し、政策を組み立てる事がこのような運動になったと考えます。

コロナ禍が終息後の社会の様式を変えて行く必要があると言っています。新聞報道等でご承知のように、新しい生活様式や経済構造が求められています。その

にすることが必要になります。グローバルからローカルへの転換を捉えた発想が重要だと考えています。そのためには、地域の自立・分散型の社会をどのように形成し、そして補完し支え合うシステムの構築が必要であると考えます。

地産地消を通し、会津管内の学校給食の食材はすべて会津地域で調達する。福島県で生産する農産物は、県内で加工し消費する事により、食生活文化の向上や健康の視点を重視した地域を構築していけるのではないかと考えます。

各地域の特性を生かしながら様々な事業を通し、奥会津や会津が連携し、他市町村との「差別化」でなく各市町村の「価値」を見出す政策を実施しながら都市との交流を図り「持続可能」な地域を創る事が求められています。

会津地域の自然や文化は多様性があります。他の地域とも有機的につながることにより、生き生きとした三島町や会津地域を創る事ができるのではないかと考えます。その意味からすると会津の林業や農業、そして農村こそが成長の余地があるのでないかと考えます。この社会の構築のヒントは、我々の足下にあります。

三島町長 矢澤源成

July 2020

広報みしま 7月号 (第329号)
令和2年7月3日発行 (毎月第1金曜日発行)

発行 三島町 ■編集 三島町役場 特命担当課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5232
ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp
印刷 北日本印刷株式会社